

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

自然の文化祭「大阪自然史フェスティバル2023」を開催します

～開催当日は、関西文化の日のため入場無料～



大阪市立自然史博物館では、「大阪自然史フェスティバル2023」を、関西文化の日である2023年11月18日（土）、11月19日（日）に開催します。

「大阪自然史フェスティバル」は、100団体近い自然に関わるサークルや、地域の自然保護団体等が一堂に会して出展する文化祭です。また、自然に関連する博物館や企業も参加し、活動紹介やワークショップ等を通じて、市民のみなさんに大阪周辺の自然の現状や自然に関わる楽しさをお伝えします。

このような趣旨のフェスティバルは、2003年から2019年の間はほぼ毎年この時期に開催しており、各回の来場者は1万人を超え、多くの方々に「自然の文化祭」として楽しんでいただいております。2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を見送っていましたが、2022年には再開することができ、今年も引き続き開催することとなりました。

■開催概要

1. 名称：「大阪自然史フェスティバル2023」
2. 期間：2023年11月18日（土）、11月19日（日）
3. 開催時間：9時30分から16時30分（ただし両日とも入館は16時まで）
4. 会場：大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23（長居公園内）
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225
HP：<https://www.omnh.jp/>
Osaka Metro 御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m

5. 入 場 料：無料 ※2023年11月18日（土）、11月19日（日）ともに「関西文化の日」のため、博物館本館入館料も無料となります。
6. 主 催：大阪市立自然史博物館、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、関西自然保護機構
7. 協 賛：協栄産業株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、興和オプトロニクス株式会社、ハクバ写真産業株式会社、株式会社パレオ・ラボ
8. 協 力：大阪市立自然史博物館友の会、公益社団法人大阪自然環境保全協会、谷口高司鳥絵工房、日本野鳥の会大阪支部

9. 開催内容

◆ブース展示（両日とも開催）

出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。生き物をモチーフとした作品の販売ブースもあります。

◆ワークショップ（両日とも開催）

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

◆世界の双眼鏡・望遠鏡の展示・販売（両日とも開催）

ケンコー、コーワ、スワロフスキー、ベルボンなど、各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。

10. 問合せ

◆フェスティバルに関するお問い合わせ

大阪自然史フェスティバル事務局（認定特定非営利活動法人大阪自然史センター内）

TEL：06-6697-6262 FAX：06-6697-6306 MAIL：fes2023@omnh.jp

「大阪自然史フェスティバル2023」公式webサイト <http://www.omnh.net/npo/fes/2023/>

◆取材・広報・広報用画像に関するお問い合わせ

大阪市立自然史博物館 総務課 広報担当 山上（やまがみ）

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23（長居公園内）

TEL：06-6697-6222 FAX：06-6697-6225 MAIL：k-yamagami@ocm.osaka

■広報用提供写真（写真はすべて2019年以前に撮影したものです）

1. 会場内の出展ブースの様子
（ネイチャーホール）



2. 会場内の出展ブースの様子
（玄関前ポーチ）



3. 大阪市立自然史博物館友の会
による自然観察体験



■イベントなど詳細情報

◆講習会・体験講座

<11月18日(土)>

「叶内拓哉とバードウォッチング」

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、長居植物園内でバードウォッチングをします。

日 時：11月18日(土) 10:30～11:30

参加費：無料(ただし植物園入園料が必要)

定 員：先着50名

講 師：叶内拓哉氏(野鳥写真家)

集合場所：長居植物園内

主 催：興和オプトロニクス株式会社

<11月19日(日)>

「はじめての鳥みたい(隊)!(探鳥会)」

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだまだあまり経験のない方も大歓迎です。

日 時：11月19日(日) 10:30～12:00

参加費：無料(ただし植物園入園料が必要)

定 員：各回先着40名

集合場所：長居植物園内

主 催：日本野鳥の会大阪支部

<11月18日(土)・19日(日)>

「谷口高司鳥絵工房『谷口高司のたまご式鳥絵塾』」

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。参加者にはオリジナル野鳥缶バッジをプレゼントいたします。

日 時：11月18日(土) 14:30～15:30 「シマエナガ」6～3年生

11月19日(日) 11:00～12:00 「シマエナガ」6～3年生

13:00～14:00 「ルリビタキ」大人～中学生

14:30～15:30 「モズ」大人～中学生

参加費：1000円(画材代)

定 員：各回先着30名

対 象：小学3年生以上

集合場所：博物館玄関前ポーチ

そ の 他：画材の持込不可、写真撮影禁止、保護者の同席不可。

主 催：谷口高司鳥絵工房

「長居公園の生きものを探そう」

長居公園内で見られる植物や動物、昆虫を観察します。

日 時：11月18日(土) 11:00～12:00、14:00～15:00

11月19日(日) 11:00～12:00、14:00～15:00

参加費：無料
定員：各回先着 30 名
集合場所：博物館玄関前ポーチ
主催：大阪市立自然史博物館友の会

◆講演会・シンポジウム（会場：講堂）

<11月18日（土）>

講演会「群れを作る鳥たち」

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、鳥が群れになるのはなぜなのか？撮影者にとって群れの写真の魅力は？といった話をお聞きます。

日時：11月18日（土） 13：30～14：30

会場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

定員：先着 170 名

講師：叶内拓哉氏（野鳥写真家）

主催：興和オプトロニクス株式会社

講演会「深海にもぐってわかった深海生物の生きざま」

ヒトからみたら極限環境にある深海。摩訶不思議な姿かたちをした生物が暮らしていると思っ
ていませんか。この講演では、「しんかい 6500」や深海ロボットで解き明かしてきた深海生物の
本当の摩訶不思議さにせまります。

日時：11月18日（土） 15：00～16：30

会場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

定員：先着 170 名

講師：藤倉 克則氏（海洋生物環境影響研究センター）

主催：関西自然保護機構

<11月19日（日）>

シンポジウム「OSAKA ベイエリアに、いのち輝く自然を取り戻すために」

生物多様性のポテンシャルの高い夢洲を中心に、大阪でネイチャーポジティブをすすめるべ
く、持続可能な大阪の創造のために 30by30 や自然共生サイトの果たす役割について学びます。

日時：11月19日（日） 10：00～12：30

会場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

定員：先着 170 名

登壇者：夏原 由博氏（大阪自然環境保全協会会長） 他

主催：公益社団法人 大阪自然環境保全協会

後援：日本自然保護協会、WWF ジャパン、日本野鳥の会、日本野鳥の会大阪支部、NPO 法人
AM ネット、NPO 地域づくり工房

講演会

第1部「野外識別の草分け、榎本佳樹をめぐる人々 —榎本佳樹生誕 150 年記念事業—」

日本野鳥の会大阪支部創設期に野鳥指導員として活躍され、我が国最初のフィールドガイドである「野鳥便覧」上下巻を執筆（発行大阪支部）された榎本佳樹の生誕 150 年を記念しその業績とともに、交友関係にも焦点をあて、当時の野鳥の会の様子や野鳥保護への取り組みなどを紹介します。

講 師：納家 仁氏（日本野鳥の会大阪支部支部長）

日 時：11月19日（日） 13：00～14：15

第2部「どうしたもんじゃ こん鳥は ～四国西部のヤイロチョウ生息地におけるサンジャク対策の現状と課題～」

2023年6月～7月に高知県四万十町ヤイロチョウの森周辺で行ったサンジャク生息調査の結果などをもとにヤイロチョウの保護やサンジャク対策の現状や課題を話し合います。

講 師：中村滝男氏（生態系トラスト協会会長）

高尾和伸氏（生態系トラスト協会常勤理事）

納家 仁氏（日本野鳥の会大阪支部支部長 サンジャク生息調査実施） 他

日 時：11月19日（日） 14：30～16：30

会 場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

定 員：先着 170 名

主 催：日本野鳥の会大阪支部、生態系トラスト協会、中西悟堂協会